

特 集



平成28年を迎えて

新年号の特集企画として、葵総合経営センターの次の顧問先様より、新年に向けての抱負をいただきました。

- ・ 岡部建設株式会社
- ・ 医療法人 清水会

(五十音順、敬称略)

御多忙中にも関わらず、快く対応していただき、ありがとうございました。

本年もよろしくお願い致します。

広報委員会

法人設立40周年を迎えて



医療法人 清水会 常務理事 鈴木 章央

この度、私ども医療法人清水会は設立40周年を迎えることが出来ました。また当法人設立記念日の12月1日にはホテルグランコート名古屋において、ささやかな祝賀パーティーを開催致しました。



当日は法人職員その他、葵総合経営センターをはじめとする取引先様にもご出席頂き、職員永年勤続表彰や楽団演奏、抽選会など、とても和やかな雰囲気となりました。このようなパーティーが開催出来ましたのも、職員の努力と関係各位からの長年にわたるご支援とご協力があったからこそと、心より深く感謝申し上げます。



私ども医療法人清水会は葵総合経営センター（当時は杉浦会計事務所）に28年前よりお世話になっております。現在は、清水会すべての事業所の会計業務をはじめ、給与関係、経営コンサルティング、各種行政手続き、法律顧問など多岐にわたってご指導頂いてまいりました。当時の杉浦会計事務所の前は、入江会計事務所にお世話になっておりましたが、入江先生の都合により杉浦正康先生を紹介され、その後すべての業務を葵総合経営センターへ移行しました。

当時はまだ、事務処理が電卓の時代であったと思います。この後しばらくして時代は一変し、パソコンの時代へと大きく変遷しました。そして今やスマートフォンやタブレット端末などIT機器無くしての仕事が成り立たない時代までとなりました。歴史ある杉浦会計事務所も法人化にて葵総合税理士法人となり、葵総合税理士法人を核とした総合経営センターへと大きく成長され、今や愛知県内でも最大手の規模となりました。一つの国が成り立つための最も重要で基本的な事項は、その国に合った税法と適正適確な税の徴収であると思います。どの国においても国民と企業からの税収で国家が形成されています。それ故に税の適正な使途もなお重要な事であります。我が国には数々の法律が存在していますが、その中でも最も改正の多いものが税法と聞いております。専門家集団の税理士法人においても大変なご苦勞ではないかと推察致します。

当法人は今日まで医療と介護に特化した事業を行ってまいりました。我が国は今まさに超高齢社会を迎えており、国に予想外の税収増が無い限り、我々の事業に直結する医療・介護・年金等の社会保障費を抑制するのは、ある程度やむを得ないことかもしれません。消費税も8%から1年後には10%へと上がることとなり、我々医療法人の経営を圧迫し、さらにはTPPも医療介護にどのような影響を与えるかは不透明です。そのような中で、国は近い将来マイナンバー制度を活用して税や保険料の確実な徴収と医療・介護・年金・雇用の一元化とその実態管理を計画しているようです。わずかに明るい光としては、企業の実行税率を20%台まで軽減するという発表がありました。

企業と会計事務所の関係は、例えて言うなら自動車の両輪であると思います。会計事務所の専門家からは、徹底した節税と顧問先企業がより発展するための提案力が必要であり、また企業側は会計事務所の適切な指導に従って協力しなければなりません。それこそがお互い共存共栄の最も正しい姿であると考えます。

葵総合経営センターもすでに世代交代され、益々その事業を継続発展されています。我々医療法人清水会も今回の40周年を節目として、今後は若い世代の新しい頭脳と強力なエネルギーによる一層の活躍を願いつつ、この先も変わらず葵総合経営センターとの強い絆と良きパートナーシップを希望します。